

## 第 1 回講演会報告

西村昌能（京都府立洛東高等学校）

2008年3月22日（土）2008年度NPO法人花山星空ネットワーク第1回通常総会に先立って天文学術講演会がもたれました。会場は京都大学百周年時計台記念館国際交流ホールⅡでした。13:30～16:00の時間設定をいたしました。会費は大人1000円、高校生以下500円（NPO会員は半額）でした。

まず、花山天文台長 柴田一成さんから「最新の太陽像と宇宙天気予報」、次に休憩を挟んで京都情報大学院大学教授 作花一志さんからは趣を変えて「平安の天文家～空海・晴明・定家をめぐって」のご講演をたっぷりの時間を利用して行っていただきました。

それぞれの詳しい記録は講演者自身のページを読んでいただくとして、ここでは経過と感想を述べてみたいと思います。

まず、講演会は花山天文台でのミニ講演会がその始まりと考えていいでしょう。ミニ講演会は、45cm望遠鏡で観測の間合いを取ることや雨天などで観望ができない時の対策として設けられたものです。20分の講演時間と20名程度の聴衆を相手に京都大学などの研究者が講演されるというもので、曇った日にも多くの来台者の満足を支える取り組みになっています。

そこで、役員会では、天文学普及の取組の中でこのような講演会を独立させてみてはどうだろうか。聴衆も100名規模を考え、京都大学など天文台以外の多人数を収容できるところで開催するのはどうだろうかという議論がなされ、通常総会の時に実施することになったのです。

学問を大切に、学問を愛する京都の土地柄故、多くの参加者を得ることができて主催者としてたいへん嬉しく思いました。特に、お年を召した方の積極的な質問やその姿勢には人生の先輩としての貫禄を見つけた思いです。この講演会では私は司会を仰せつかりました。会場一杯の参加者の皆さんの熱気と向学心にあ心打たれるものもありましたし、司会をしながら、講演者の素晴らしいお話を楽しむことができました。今後もこのような取組を定期的に開催する意義を感じたのでした。

なお、第2回講演会は6月7日（土）に京都大学理学部6号館で行われました。次号で詳しくご報告します。



写真1 熱心に聴講されるみなさん



写真2 柴田さんの講演



写真3 作花さんの講演